

■12月25日

### ANA、貨物事業会社「株式会社ANA Cargo」、新規路線拡大

全日空は24日、2014年4月より、新事業会社「株式会社 ANA Cargo」による営業を開始し、更なる貨物事業の拡大を図っていくと発表した。

沖縄を発着する貨物路線を、2014年1月1日に沖縄から中国の青島に向かう便の運航を始めるほか、新たな路線として3月から広州-沖縄、5月からは沖縄-シンガポールを開設する。(いずれも片道運航)。中国線の就航認可取得のほか、今年度内に受領するB767-300F型機10号機でネットワーク拡充を図っていく。これにより、5年目を迎えたANAの沖縄貨物ハブでの就航地点は現行の9地点から5月には12地点を結ぶこととなる。

同時に、沖縄貨物ハブ以外の貨物便ネットワークにおいては、2014年1月1日の成田-広州線の新設に続き、5月からは成田-ジャカルタ線、シンガポール-成田線、成田-関西-上海線を就航させ、成田からの貨物便ネットワーク拡充も図る。

(時事ドットコム)12/24

[http://www.jiji.com/jc/c?g=eco\\_30&k=2013122400727](http://www.jiji.com/jc/c?g=eco_30&k=2013122400727) (-> [http://www.jiji.com/jc/c?g=eco\\_30&k=2013122400727](http://www.jiji.com/jc/c?g=eco_30&k=2013122400727))

(日刊航空)12/24

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1225-04.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1225-04.pdf>)

(ANAプレスリリース)12/24

[http://www.ana.co.jp/pr/13\\_1012/13-137.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_1012/13-137.html) (-> [http://www.ana.co.jp/pr/13\\_1012/13-137.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_1012/13-137.html))

### 中華航空、富山-台北定期便、3月下旬増便、週5便へ

県は24日、中華航空が運航する富山-台湾の定期便について、来年3月下旬から週5便に増えると発表した。台北便は2012年4月の就航以降、週2~4便で増減を繰り返しており、県は今後、毎日運航を求めて働きかける方針。

石井知事が23日に同社台北支店を訪れ、孫洪祥会長と会談。県によると、孫会長は「夏季は週5便へ増便したい」と明言したという。

(読売新聞)12/25

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/toyama/news/20131225-OYT8T00006.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/toyama/news/20131225-OYT8T00006.htm>)

### FDA、8号機はティーグリーンに決定

フジドリームエアラインズは12月24日、来年3月に受領を予定する8号機(エンブラエルERJ175(->))の機体色を、「ティーグリーン」に決定したと発表した。同社は1機ごとに機体色が異なる“マルチカラー・コンセプト”が特徴で、1号機レッド、2号機ライトブルー、3号機ピンク、4号機グリーン、5号機オレンジ、6号機パープル、7号機イエローと展開している。

(日刊航空)12/25

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1225-05.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1225-05.pdf>)

(FDAプレスリリース)12/24

<http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/131224.pdf> (->

<http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/131224.pdf>)

出典:FDAプレスリリース





### ベトナム、交通運輸省、出張時にLCC利用、今年第4四半期5億ドンの経費削減

交通運輸省のグエン・バン・ルー事務局長によると、同省では今年10月から同省幹部が出張する際のビジネスクラスの利用をやめ、格安航空会社の利用に切り替えた。これにより、今年第4四半期だけで5億ドン（約249万円）の経費削減に繋がる見通しだという。Vietjoが報じた。

同省は、格安航空会社のジェットスターパンフィックおよびベトジェットエアと協力覚書を締結しており、専用のアカウントとパスワードを設けて、予約・発券ができるようになっている。また、同省幹部が航空機を利用する際は、搭乗手続きの優先や、航空券の名義変更・発券サービスを無料にするなどの優遇措置を受けている。

(Vietjo)12/24

<http://www.viet-jo.com/news/social/131220052606.html> (-> <http://www.viet-jo.com/news/social/131220052606.html>)

### 中国、民間航空参入を規制緩和、各種投資の参入も許可

(日本新華夏によると)

中国は民間航空の参入規制を緩和し、安全基準に合致する各種投資主体の平等な参入を許可する。

中国民間航空総局の李家祥局長は23日に開かれた全国民間航空活動会議の席で、市場の決定的な役割を十分に果たすため、中国は民間航空の参入規制を緩和し、市場参入制度を統一化し、安全条件に合致する各種投資主体の平等な参入を許可する。投融资メカニズムの多元化を図り、民間航空への民間参入を奨励する。中国は民間航空産業投資ファンドを設立し、民間航空業の投融资の多元化を推し進める。航空運輸会社の新設、航空会社による子会社の設立、経営範囲の拡大における手続きを簡素化する。本土航空路の経営許可条件を緩和し、航空路の登記範囲を拡大し、登記プロセスを簡素化し、航空機登録から記録管理に移転する。民間航空会社の経営的・非経営的業務における管理政策を緩和する。

李局長によると、中国の民間航空業は次第に運賃の上限規制を緩和し、社会公益性が強い航空路を除いて、大多数の航空路は価格の市場化を実行する。空港や航空管制の料金政策を完備し、資源条件や需給関係による料金基準を実施し、航空会社による差異化戦略の実施に大きな余地を提供する。統一的かつ開放的、秩序的な民間航空市場規則を制定し、公平の原則を体現し、優勝劣敗を奨励し、市場の秩序を維持する。

中国は今後、民間航空の行政審査・認可手続きを簡素化する。民間航空の生産要素市場を構築し、効果的な配置と合理的な流動を促す。航空建設管理規定の制定を推進し、審査・認可の権限を移譲し、審査・認可プロセスを簡素化する。インフラ拡大プロジェクトを新規プロジェクトと見なし、企業投資プロジェクトの自主決定を実施する。航空機導入審査プロセスを整え、フライトチーム企画のコントロールの役割を果たす。最大限に生産・経営活動の手続きを簡素化し、飛行計画登録制度を確立し、しっかりと航空会社にサービスを提供する。

(日本新華夏)12/24

<http://www.xinhuaaxia.jp/1131334056> (-> <http://www.xinhuaaxia.jp/1131334056>)

### 中国、3013年、旅客輸送量3億5400万人と予想

中国民間航空局の李家祥局長は23日、「中国民間航空の旅客輸送量は2013年、3億5400万人になり、前年に比べ11%増え、2011年に比べ6400万人多くなる」と予測しました。新華社記者のインタビューで明らかにしたと CRJonlineが報じた。

また、民間航空局の李軍副局長は「今年11月までに、民間航空は飛行時間が632万5000時間、使われた飛行機数がのべ282万7000機に達し、前年に比べ、それぞれ11.7%と10.7%増えている」と説明したという。

(CRJonline)12/25

<http://japanese.cri.cn/881/2013/12/24/145s216011.htm> (->

<http://japanese.cri.cn/881/2013/12/24/145s216011.htm>)